

『第7回技術講演会』(第22回 パウレック技術講演会) プログラム
 場所: 品川インターシティホール 主催: 新製剤技術とエンジニアリングを考える会

2009年7月22日(水)

2009年7月23日(木)

座長: 川島嘉明氏/愛知学院大学 迫和博氏/アステラス製薬 砂田久一氏/名城大学
 竹内洋文氏/岐阜薬科大学 徳永雄二氏/沢井製薬(株) 中上博秋氏/第一三共(株) 山本恵司氏/千葉大学大学院 *あいうえお順

2009年7月22日(水)		2009年7月23日(木)	
	10:00~ 10:10	『開会の挨拶』	
1	10:10~ 11:00	黒川 達夫 博士 元厚生労働省大臣官房審議官 現千葉大学大学院薬学研究院 特任教授 『わが国の保健衛生状況と医薬品に期待される役割 有効性・安全性と生産・製剤・品質をめぐる動きについて国際的な視点を含めて』	1 9:30~ 10:20
		【座長】	大森 真治 博士 武田薬品工業株式会社 健康科学研究所 主席研究員 『コーティングによる錠剤品質の向上-外觀・薬物含量安定化と不快臭マスキングにおける電子嗅覚システム評価』
2	11:00~ 11:50	Dr. Sunny Panmai <i>Research Fellow, Pharmaceutical Research & Development Merck Research Lab, Merck and Co.</i> 『経口剤のDDS化のためのナノ製剤設計』	2 10:20~ 11:10
		川島先生	Dr. Sven Schreder <i>Head of the Pharmaceutical Research and Development Boehringer Ingelheim Pharma GmbH & Co. KG.</i> 『2008年度 ISPE ファシリティ・オブ・ザ・イヤー受賞-ドイツ・ペーリンガー・インゲルハイムの最新工場- 製剤研究・治験薬工場・商業生産工場のインテグレーション』
	11:50~ 12:50	昼食 (1時間)	3 11:10~ 12:00
			Mr. James Kowalski <i>Fellow, Technical Research & Development, Novartis Pharmaceuticals</i> 『経口固形製剤開発の新たな可能性と連続式二軸押出機』
			【座長】
			12:00~ 13:00
			昼食 (1時間)
3	12:50~ 13:40	Dr. Thomai "Mimi" Panagiotou <i>Chief Technology Officer, R&D, Microfluidics International, Inc.</i> 『ナノマテリアル生成装置Microfluidizer®の技術: 医薬品への応用』	4 13:00~ 13:50
		【座長】	澤 英治 氏 協和発酵キリン株式会社 バイオ生産技術研究所 主任研究員 『抗体製剤の安定性向上を目指した諸検討』
4	13:40~ 14:30	加藤 政裕 氏 中外製薬工業株式会社 生産技術部設備グループマネージャー 『「パラレル&マルチユース」をコンセプトとした高薬理活性製品対応の固形製剤棟の紹介』	5 13:50~ 14:40
		迫先生	Dr. Jürgen Werani <i>Schuh & Co. Complexity Management GmbH (Former Director Operations, Pfizer Inc, Germany) Coauthor: Prof. Thomas Friedli, TECTEM ITEM-HSG, Universität St. Gallen</i> 『製薬業界におけるOperational Excellence(OE) - R&Dとマーケティングが主導の業界でOEは重要か?』
	14:30~ 14:50	コーヒープレイク(20分)	14:40~ 15:10
			コーヒープレイク(30分)
5	14:50~ 15:40	Dr. Theodora Kourti <i>Senior Technical Director New Product & Global Supply (NP&GS), GlaxoSmithKline</i> 『ICH Q8 Quality by Designと多変量解析』	6 15:10~ 16:00
		【座長】	大谷 茂義 氏 ニプロ株式会社 医薬品研究所 顧問(元塩野義製薬株式会社) 『製造現場の製剤技術(II) 医薬品の造粒』
6	15:40~ 16:30	谷野 忠嗣 博士 塩野義製薬株式会社 生産技術本部CMC技術研究所製剤研究センター 製剤研究センター長 『デザインスペース構築のケーススタディ』	7 16:00~ 16:50
		中上先生	Prof. Peter York <i>Professor of Physical Pharmaceutics Institute of Pharmaceutical Innovation, University of Bradford, UK</i> 『製剤技術の革新と医薬品創出の将来』
	16:30~ 17:00	展示会場(ホワイエ)にて、カクテルパーティ (30分)	16:50~ 17:00
			砂田 久一 新製剤技術とエンジニアリングを考える会 運営委員 『閉会の挨拶と来年度の計画について』
	17:00~ 19:00	講演会ホールにて交流会	